

情報公開文書

聖隷三方原病院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた検体やカルテ記録を利用することによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究の計画や方法について詳しくお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ記録を利用することをご了解いただけない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 透視検査における面積線量計を用いた線量評価

[研究機関名] 聖隷三方原病院

[研究機関の長] 荻野和功

[研究責任者] 佐藤洋之 (画像診断部・診療放射線技師)

[研究の概要]

■ 目的・方法 (研究期間も含む)

研究期間：実施承認後～2022年11月末

目的・方法：本研究は通常診療時に取得した線量情報を解析した後ろ向き研究です。

X線透視装置は、X線の透視像をリアルタイムに見ることのできる装置です。X線を利用し様々な診療科の検査や治療の補助を行っています。

X線透視検査ではバリウムと呼ばれる造影剤を使用して食道・胃・十二指腸・大腸などを観察する消化管造影をはじめ、IVPなどの尿路造影検査、ミエログラフィーなどの脊髓腔造影検査、PTCDなどの胆道造影検査があります。また、徒手整復や内視鏡検査の補助にも使用します。

当施設のX線透視装置に付属している面積線量計を使用して、当施設にて頻度の高い透視検査であるイレウス管挿入、逆行性膵管胆管造影 (ERCP) 治療の項目について連続した8ヶ月間の線量評価を行う研究です。これにより医療被ばくの最適化の評価を行います。

■ 対象となる患者さん

2022年1月から2022年8月までにX線TV検査室14番及び16番にてイレウス管挿入、逆行性膵管胆管造影 (ERCP) 治療を行った患者さん。

■ 研究に用いる試料・情報の種類

試料：なし

情報：X線透視検査における線量情報データ

[問い合わせ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先]

社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷三方原病院

佐藤洋之 画像診断部

電話 053-436-1251 FAX 053-438-2971